

危機感の認識と打開への挑戦なくして生き残りは困難

執行委員長 多久和 英紀

明けましておめでとうございます。

昨年、円高・株安・消費不況の中で、夏の猛暑による需要、エコカー減税、エコポイント等の効果、そして新興国の旺盛な需要に支えられた輸出の伸びによって、若干の業績回復が見られますがそれは一部の地域と業種、そして大企業であって、私達の山陰と中小企業にあってはそうした状況にはありません。本年も世界経済はそうした新興国の成長に支えられる見通しであり、日本からの工場の海外移転は加速していくものと予想されます。

こうした中で企業・雇用・生活を守っていくには、これまでの延長線や踏襲ではなく新興国の台頭や地球環境のエコの動き等、今の時代に合った製品、技術、技能、コストなどに危機感をもって追及していかなくてはなりません。この努力なくして生き残りは困難です。皆さんと一緒にこの状況を乗り越えていきたいと思っております。皆さんの一層の奮闘を期待し新年のごあいさつといたします。



JAMの総合力を発揮し着実な前進を

JAM会長 河野 和治



新年あけましておめでとうございます。

日本経済は、世界金融危機後の急激な生産の縮小から漸く立ち直り、企業業績も大手企業では顕著に改善しています。昨年の参議院選挙においては、貴JAM山陰をはじめJAMの全組織が一丸となった取り組みで津田やたろうの再選を果たすことができました。改めてご支援いただいた皆様に感謝申し上げます。残念ながら参議院で民主党は過半数を失い厳しい国会運営を強いられています。今こそ政権交代の原点を再確認し、国民の負託に応える、生活の安定と安心につながる着実な政策実現を期待しているところです。また雇用・労働政策については、ILOの求める政労使三者構成の枠組みで決定されなければならないことも、改めて確認する必要を感じております。昨年8月、JAMは政府・与党の代表にもご臨席いただき、結成10周年のレセプションを開催することができました。これからの10年に向けた新たな決意の下でスタートしたところです。

2011年春季生活闘争では中期的な計画に基づいて賃金水準の復元に取り組みます。特に300人未満の中小企業の賃金低下に歯止めが掛かっていません。勤労者の7割以上を占める中小労働者の賃金を底上げして消費の拡大につなげるのが重要です。賃金を含めた労働条件の改善がなければ中小企業の人材確保もままなりません。人材の確保による技能・技術の伝承は変わるものない課題です。

今年4月には統一地方選挙も控えています。難問が山積している中ですが、JAMの総合力を如何なく発揮し、着実な足取りで前進して行きましょう。今年も変わらぬ皆様のご協力をお願いし、新年のあいさつといたします。

「安心してモノづくりができる環境づくり」

参議院議員・JAM参与 津田 弥太郎

平成23年が幸多い年となりますことを祈念申し上げます。

昨年夏の2期目の戦いに際しては、力強いご支援を賜り、本当にありがとうございました。

しかし、民主党政権がまだ安定していないため、ご心配やご迷惑をおかけしており、深くお詫び申し上げます。さて、私の任務の一番は日本で安心してモノづくりができる環境づくりです。任務の二番はゆりかごから墓場までの社会保障体制の充実です。何れも困難な課題ではありますが、今年一年、全力で取り組みます。

JAM山陰に集う仲間の声をどんどんやたろうにお寄せ下さい。



「デフレ脱却へ結集を！」2010.12.18 2011 春闘研修会

2011年度春季生活闘争の取り組みに向けた「2011 春闘研修会」が、東出雲町の三菱農機労働会館で開催され各単組から約90名が参加した。

主催者を代表してあいさつした堀内幹夫労働政策委員長（三菱農機）は、「景気も足踏み状態にあるが、円高継続による先行き不安、デフレスパイラルの進行、格差拡大など厳しい状況が続いている。2011 春闘に向けて積極的な議論をし、個人消費喚起につながる春闘にしよう」と呼びかけた。

講師に招いた景山誠連合島根副事務局長は、「山陰の情勢と連合の取り組み」とのテーマで講演し、「現在のデフレを脱却するために賃金を引き上げ、消費を増やさなければ景気は回復しない。今春闘では、組合員のみならず労働者全体の賃金を引き上げる運動を連合は展開する」と説明した。続いて、宮本礼一JAM副書記長から「JAM2011 春闘方針大綱」を説明。「バブル崩壊以降はベア要求するも成果が出せず、10年間春闘は負けっぱなしとも言われている。300人未満の企業は、10年間で7200円も賃金低下しており、これを複数年かけて復元させなければならない」と考え方を示した。会場からは、初めての取り組みとなる複数年の賃金復元交渉に対する質問も出され、今春闘の課題が伺える研修会となった。

最後に、多久和英紀委員長が「日々の努力、真面目な取り組みが組合員の生活を守ることになる。2011 春闘勝利に向けて、全力で頑張ろう」とまとめ、参加者全員のガンパロー三唱で締めくくられた。



▲連合の取り組みを話す景山副事務局長とJAM方針の説明をする宮本JAM副書記長。参加者全員のガンパロー三唱の様子

【2011 年春闘大綱要旨】

デフレの脱却は、配分の歪みを是正し個人消費を喚起、経済の活性化が必要。労働条件の復元・格差是正に向けた取り組み、賃金を含め適正な配分を求める。JAMは、今春闘を「組合員の参加で社会を動かす」取り組みと位置付ける。

賃上げ要求

- (1) 個別賃金要求基準
標準労働者要求基準、JAM一人前ミニマム基準への到達。
- (2) 賃金水準の維持について
①賃金制度のある又は、推計の出来るところは賃金構造維持分を確保する。
②制度がなく推計も出来ない場合、平均賃上げ要求を行う。
平均賃上げ要求基準 4,500円以上
- (3) 賃金の是正・改善について

ここ数年で、賃金構造維持分未満及び妥結額4500円未満の単組は、賃金水準の回復をめざし、5年以内を目安に各年1,500円以上の水準引き上げを目指す要求を組み立てる。

一時金要求

- 業績回復に応じて、一時金水準の低下に歯止めを掛ける。
- (1) 年間5ヶ月、半期2.5ヶ月基準の要求とする。
 - (2) 最低到達基準として、年間4ヶ月、半期2ヶ月とする。

【参加者からの意見・質問】

大鳥機工労組：垣屋さん

大鳥機工では、現在賃金カット10%が行われており、来年2年目になる。企業業績もあまり回復してなく、継続される可能性が高い。賃上げ要求も必要だと思うが、それよりもこれをどう解決していくかが、単組の課題となってくる。

日庄ST労組：生部さん

過去約10年間とれなかった賃上げ分を5年かけて取り返すと言うが、それは労使で合意し決定したことで、それを取り返すというのは、会社に説明ができないのではないかと。

JAM本部・執行部の説明

各企業の厳しい状況が続いているとも考えられるが、組合員の皆さんの賃金低下は明らかであり、早くあるべき水準に復元することは重要な取り組み。更には、定昇凍結や賃金カットなど実施されてきたところは、復元する時期や方法など交渉のテーブルに載せていこうというもの。本部討論集会や、他地方JAMの討論集会でも、同様な質問が出されている。質問の内容は理解できるが、日本をデフレから脱却させるためには、賃金改善による消費喚起が絶対に必要であり、その点を団体交渉の中で経営者側に説明してもらいたい。

